

リアク・マシャール第一副大統領及びアンジェリーナ・テニー内務大臣の逮捕に伴う注意喚起

【ポイント】

- 現地報道によれば、3月26日夜、リアク・マシャール南スーダン第一副大統領は、妻であるアンジェリーナ・テニー内務大臣とともに南スーダン人民防衛軍（SSPDF）及び国家治安局（NSS）によって自宅で逮捕・拘束されたと伝えられています。
- ジュバ市内でもさらに緊張が高まり、SSPDF と非主流派（SPLM-IO）同士の衝突を含め今後急速に情勢が悪化する恐れがあることから、安全確保のための行動を徹底してください。

【本文】

現地報道によれば、3月26日夜、リアク・マシャール南スーダン第一副大統領は妻であるアンジェリーナ・テニー内務大臣とともに南スーダン人民防衛軍（SSPDF）及び国家治安局（NSS）によって自宅で逮捕・拘束されたと伝えられています。すでに石油大臣を含む非主流派（SPLM-IO）の要人逮捕が相次いでおり、3月24日から26日にかけて首都ジュバ近郊においても SSPDF と SPLM-IO の衝突が3件報告されています。

ジュバ市内でもさらに緊張が高まり、SSPDF と SPLM-IO 同士の衝突を含め今後急速に情勢が悪化する恐れがあることから、以下の点に留意しつつ安全確保のための行動を徹底してください。

1. 不要不急の外出は控え、特に政府関連施設や政治集会の可能性がある場所には近づかない
2. 治安情報を日本大使館や信頼できる現地情報源から随時収集し、安全に関する最新情報を常に把握する
3. 万が一トラブルや危険を感じた場合は、直ちに日本大使館や関係機関へ連絡し指示に従う
4. 周囲の情勢変化に対して警戒を怠らず、身の安全を最優先とする

なお、外務省は、南スーダンの危険情報を首都ジュバについては「レベル3：渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」、その他の地域については「レベル4：退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」を発出しています。